

京都税理士協同組合ニュース KYOZEIKYO

発行所

京都税理士協同組合

発行人 廣瀬 伸彦

編集人 有田 行雄

〒604-0943

京都市中京区麩屋町通御池上ル
上白山町258-2

電話(075)222-2311

E-mail kyozei@kyozei.or.jp



一泊旅行写真コンテスト最優秀賞 「浄蓮の滝」

宇治支所 山口 茂世

第33回通常総会開催

〈全議案を承認可決〉

京都税理士協同組合の第33回通常総会が、7月29日京都ホテルオークラで開催された。

小坂文夫専務理事の司会により、本年度中にご逝去された組合員の氏名が読み上げられ、上京支所小山守組合員（都山流竹琳軒大師範小山青山）が奏でる尺八の音と共に黙祷を捧げご冥福をお祈りした。

林伸三郎副理事長が開会を宣言し、上田寛理事長が挨拶を述べた。

司会者が議長の選任を議場に諮ったところ、司会者一任の声により田中守組合員を指名し議事に入った。

第一号議案 第33期（自平成16年6月1日至平成17年5月31日）事業報告及び財務書類承認の件について、事業報告は吉澤俊二総務担当専務理事により行われ、財務報告については二股茂財務委員長の説明の後、村山佳也監事の監査報告があった。事業報告では、新税理士会館完成から1年が経過し、その間、組合員などの研修や会議の場として、また、週日の無料税務相談室の運営等当初の計画どおりその役割を十分果たしていること、会館建築代金の借入金の返済も順調に推移し、期中に一部内入れが出来たこと、昨年の総会で承認をうけた定款の一部変更、それに伴う賛助会員制度への移行も順調に対応したこと等が報告された。

第二号議案 第34期（自平成17年6月1日至平成18年5月31日）事業計画及び収支予算（見積損益計算書）

承認の件についても両役員より提案があり、事業計画としては、従来からの事業理念を引き続き継承し、堅実な組合運営を基本とし、税理士会館を積極的に活用し組合員・賛助会員のための教育情報事業や福利厚生事業を充実させること等の報告があった。

第三号議案 役員任期満了につき改選の件については定款第30条第6項ただし書の定めによる投票以外の方法（出席者の議決権の3分の2以上の議決）により理事55名監事5名が選任された。

第四号議案 借入金最高限度額承認の件について借入金最高限度額を2億5千万円としたい旨説明があった。



各議案とも質疑応答の後、原案どおり承認可決され、議長は議事の終了を告げ降壇した。

この後、当組合創立以来、33年

の永きにわたり京都税経学院の発展に貢献された有田徳五郎学院長の退任式が行われ、上田理事長より感謝状と記念品が贈呈された。

続いてご来賓の紹介があり、代表して大阪国税局税理士監理官の村川満夫様他5名の皆様よりご祝辞を賜った。最後に田島博昭副理事長が閉会の辞を述べて無事終了した。

（編集委員 間嶋利行）

新理事長挨拶

第33回定期総会において理事に選任され、8月8日の新しい理事による理事会において理事長に選任されました。微力ではありますが任期中全力でその職責を果す所存であります。

我が組合は今日、確固たる財政的基盤を確立し、昨年には交通至便な都心に新会館の建設を果しました。

この新会館にふさわしい組合経営、活発な事業活動を若く新しい役員、委員の皆様とともに計って参りたいと思います。

協同組合の目的は、組合員の相互扶助の精神に基づき、数多くの組合員が必要とする共同事業を行ない、その利益を共有し、共同事業を利用して組合員自身の自主的な経済活動を促進し、その経済的地位の向上を計ることとされています。



理事長
廣瀬 伸彦

役員や委員の一部の組合員のみによる事業ではなく、全ての組合員が事業に参加し、その経済活動を利用し、組合発展に寄与し、併せて組合員自身の事業の発展に寄与し組合員各自の経済的地位の向上を計ることが出来るような組合活動であってほしいと願っています。

出資をして組合員となっていていただくだけでなく、自ら事業に参加し、組合員相互のための共同活動に参加していただき、30数年におよび発展して来た当協同組合がより以上の発展がとげられるよう組合員としての自覚をお願いするものであります。

組合員一人一人が事業に参加し、相互扶助の精神にもとづき、組合事業の発展に寄与し、組合の目的を達成し、関係各位との共栄を図りつつ積極的な組合運営と健全な組合経営に努めていただき、そして自らの事務所の社会的地位、経済的地位の向上を計ることが出来るよう組合、組合員、賛助会員ともどもに力を合わせて参りたいと思います。

皆様の絶大なるご協力を賜りますようお願い申し上げます。就任のご挨拶といたします。

理事長退任の挨拶

平成11年 8月開催の理事会において、清水久雄理事長より理事長職を引き継ぎ、今月迄、三期 6年お蔭様で執行役員、役員、委員、組合員の諸先生はじめ、関係各位のご支援、ご協力のもと、大過なく任期を務め、今回、次期役員、委員の先生方に組合の運営及び経営を引き継ぐことができ、誠に有難うございます。心から感謝と御礼を申し上げます。

企業30年説ではありませんが、当組合は設立33年の



上田 寛

大きな節目の時期にあります。ここにきて、組合に設立当初より関わってこられた先輩諸先生から、次世代の先生方に組合が委ねられ、新しい幕開けの時を迎えました。

京税協の歴史を顧みると、設立苦難期、躍進期、成長期、安定期へと、その時々、困難な問題を、役員、組合員が一体となって解決しながら着実に成長、発展を続けて参りました。しかし、今日、社会の大変革期の激流の中で組合の運営及び経営が、厳しい局面にたたされることもあろうかと思われまします。どうか組合運営の原点に戻り、相互扶助の精神のもと組合員、賛助会員の総力を結集して困難を乗り越え、益々健全な組合に成長、発展されますよう心から祈念申し上げます。

総会講演会

現代社会と宗教

「お寺と大学と華道そしてエコリズム」

講師 真言宗大覚寺派 宗務総長 坂口 博翁 先生

京都に住むものにとって、仕事・生活を通してお寺とは切っても切れない関係ということで、今回は大覚寺の坂口博翁先生の講演をお聞きしました。

真言宗には十八本山があり、各派によって門主の呼び方が、門跡・貫主・管長・座主・長老・長者などなどまちまちです。この中で門跡を使っている寺院だけが天皇家と縁のある寺院で、仁和寺・勸修寺・大覚寺・随心院の四本山が天皇家と何らかの関わりがあります。例外は泉涌寺で、長老と呼んでいます。が歴代天皇の菩提を弔っています。

さて、大覚寺は、第52代嵯峨天皇の長女・正子内親王が嵯峨天皇の離宮・嵯峨院を大覚寺として開かれました。嵯峨天皇・第53代淳和天皇が崩じられた後、藤原良房の陰謀で「承和の変」が起こり、淳和天皇の皇子であった恒貞親王が廃太子となり、大覚寺に入られ、開山「恒寂入道親王」となられたのが始まりです。余談ですが宮家の最後の門跡は本物の有栖川宮親王です。

809年、嵯峨天皇は24歳で即位され、遣唐使として中国の新しい文化を持ち帰った真言宗の宗祖・弘法大師空海と親交を深められました。唐で真言密教を学び、世界の最新情報を持つ空海は、嵯峨天皇のトップブレインでした。空海は、帰国後3年の間大宰府に、ついで河内の槇尾山施福寺に留まって待機の身でした。天



皇は文人書家としての見解を空海にお聞きになるなどお二人の出会いが極めて個人的な親近感をもったものであり、天皇が唐の文化・芸術に深い関心をお持ちであったことを示しています。818年、日本全国に大病が蔓延したときも、弘法大師のお勧めで病気平癒を願ってお写経をされました。これが大覚寺に祀ってある「勅封心経」です。大変ご利益があり病気は治まりました。

このお写経にならって大覚寺では毎月1日、11日、21日に写経法会を奉修しています。

嵯峨天皇は歴代天皇のなかでも優れた文化人で、三筆にも称され平安文化の礎を確立された方でもあります。華道嵯峨御流は嵯峨天皇を始祖とし1200年の歴史を持っています。天皇は、大覚寺大沢池の菊が島に咲く一本の野菊を手折られ瓶（びょう）に挿されましたが、その姿に「天・地・人」三才の格が備わり気品高い優雅な趣に感嘆され、「後世花を生くるものは宜しく之を以って範とすべし」、と仰せになりました。

この嵯峨天皇のお言葉は華道のことだけをおっしゃったのではなく、天皇がこよなく愛された嵯峨の地の自然はもとより、人間の知恵＝般若をもって大切な我が地球を守ることを示唆されたのでしょう。般若心経のお寺大覚寺にお参りし、弘法大師・嵯峨天皇の息吹に触れていただければ幸いです。（編集委員 石原 牧）

新支部長就任ご挨拶



右京支部長
篠田 展俊

今回の役員改選により右京支部支部長に選出されました篠田展俊です。組合員の皆様方、よろしくお願ひ申し上げます。

さて、我が国の経済情勢も大きな変革の時期にあります。我々の税理士業界も刻々と大きな変革期に直面しております。

そのような状況のもと、多くの諸先輩方が築いてこられた右京支部のよき伝統を継承しつつ、直面する新たな課題へも対応していく所存でございます。

時代の変化に個々の税理士自らが対応すべきことが基本となるのですが、支部としても会員の皆様方に充実した研鑽の場を設け、資質の向上を図ることを中心に会員の要望に応えるべく、支部運営をしていくことが重要であると考えております。

また、拡大が見込まれる税対事業につきましては、納税者と関係機関の理解を得ながら、当支部が以前より推進してまいりました基本を逸脱することなく、会員の負担を将来的にも著しく増加させず、より効果的に実施し、申告納税制度の維持発展を図るよう努力する所存でございます。

最後になりましたが、組合員の皆様方のご事業の発展ご健勝を祈念いたしまして支部長就任のご挨拶とさせていただきます。



左京支部長
中川 勉

組合員の先生方におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

去る6月2日の左京支部定期総会において、支部長に就任させて頂きました。浅学非才の私に支部長の大役が務まるのか身の引き締まる思いが致します。左京支部の伝統である「対話と協調」の精神で、この2年間、誠心誠意職務を全うしていく所存ですが、幸いにも副支部長を始めとして、優秀な人材を得ましたので、協力を仰ぎながら支部運営を進めていきたいと考えております。

支部長は京都税理士協同組合の支所長をお受けする事となり、又、理事に選任され、保険委員に任命され

ました。組合にとって大きな収入源である保険事業の一員として微力ながら頑張りたいと考えております。

また、左京支部としましても組合の事業には積極的に参加していきたいと思っております。

結びにあたり、組合員先生方の益々のご健勝とご事業の発展を祈念いたしまして、支部長就任のご挨拶とさせていただきます。



伏見支部長
田中 明

組合員の先生方におかれましては、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

去る6月6日の第25回伏見支部定期総会におきまして、支部長に選任されました。浅学非才の身、伝統ある伏見支部の支部長を務める器でないことは、重々承知しておりますが、役員先生方、会員先生方のご協力ご支援を得て、支部運営に精一杯努力していく所存でございます。

伏見支部は会員数160余名、「対話と協調」をモットーに、全員参加の支部運営をめざしています。支部のまともは非常に良く、種々事業には女性会員も多く参加し、和気あいあいとした支部運営が行われてきています。

さて、税理士業界は経済・社会の変化により大きく影響を受け、一方では税理士業域が拡大してきており、他方では果たすべき義務がより大きくなってきています。社会における税理士の役割がより重要となる環境をふまえ、今後常に研修の充実をはかり、社会貢献の意識を高めていこうと思っております。

支部と京都税理士協同組合とは密接な関係にあります。組合の各種事業をできるだけ支部会員先生に伝え、組合員の増加、組合事業への参加をはかっていきたいと思っております。

結びにあたり、組合員先生方のご健勝と事業のご繁栄を心から祈念いたしましてご挨拶とさせていただきます。



宇治支部長
岡野 則夫

組合員の先生方におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

去る6月2日の宇治支部定期総会において、宇治支部の支部長に就任させて頂きました岡野則夫でございます。私は能力的にも、性格的にも支部長を引き受け

るような器でないことは自分自身が一番よく承知しております。しかし、就任したからには副支部長、委員長をはじめ役員の先生、会員先生のご協力を得て、一生懸命努める所存でございます。他支部の先生方にもご協力、ご支援よろしくお願い申し上げます。

宇治支部は14市町村の自治体を有する特殊な支部であり、その全てに商工会、商工会議所が有ります。確定申告期の税対事業は大変な労力が必要となってきます。本年、近畿税理士会の総会で変更となりました会則第61条（税務支援）については危機感をもっております。本会では重点施策の第一番目に「小規模納税者及び本会が指導を必要と認める納税者に対する税務支援の方策を講ずる」と掲げられていますが、この施策が会員の業務を侵害しないようにして頂きたいと考えています。

これからの二年間、「和合」を第一に明るく楽しい支部及び支部連になればと思っております。最後になりましたが組合員先生方の益々のご健勝、ご多幸、ご事業の発展を祈念いたしましてご挨拶とさせていただきます。



園部支部長
関本 孝一

組合員の先生方には、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

私、本年の役員改選により、園部支部長に選任されました関本です。浅学非才の私に支部長の大役が務まるのか身の引き締まる思いでございます。諸先輩方が築いてこられました良き伝統を守り、時代の変化に対応できるよう全力で会務運営に努めて参りたいと思っております。どうか御支援・御協力の程よろしくお願い申し上げます。

今年で開業25年目を迎えますが、こんなに厳しい時は過去になかったように思います。税理士法改正以降の税理士法人制度、新書面添付制度、電子申告、36時間研修等、大きく変化しています。さらに、今回の商法改正に伴う会計参与制度の創設や税務支援への会則変更等、我々に対する社会の要請も多様化し、厳しい環境は今後も続いてゆくでしょう。これを前向きにとらえて時代に即応しなければならないと思います。常に、状況に応じた対応を心掛け、支部運営に取り組みたく思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。



福知山支部長
小笠原 勉

組合員の先生方におかれましては、益々ご清祥のこととお喜び申し上げ

ます。

去る5月23日の支部総会において支部長に選任されましたが、非力な私にこの大役が務まるのか不安な日々であります。その任期中は全力を尽くして行きたいと考えております。どうかご支援・ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

ところで、我々税理士を取り巻く環境は、目まぐるしい速さで変化しており、今後取り組んでいかなければならない諸問題が山積みしております。この現状を踏まえて、新しい視点に立った支部運営に当たると共に、歴代支部長が構築された良き伝統も大切にしていきたいと思っております。

また、京税協からの財政面でのご支援も私達の小支部にとって力強く感じており、組合員の一人として協力をさせていただきますのでよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが組合員先生方の益々のご健勝とご事業の発展を祈念いたしまして、支部長就任のご挨拶といたします。



峰山支部長
林 同来

去る5月の支部総会で峰山支部長に選任されたわけですが、果してその大役が務まるかどうかその責任の重大さに身の引き締まる思いがします。しかし幸いこの度就任された新役員の先生方は、経験行動力共に豊かな方ばかりですので、そのお力を大いにお借りしたいと思っております。

又当支部には、前支部長をはじめ、先輩支部長方が築いてこられた小支部独自の良き伝統があります。それは例えば会員全員の“和”を大事にして事業や活動には全員で参加するということなどですが、このいわば「協調と共生」の路線を踏襲して、真摯に活力ある支部運営を行なって、納税者から信頼される税理士制度の確立と維持発展に向けて、少しでもお役に立ちたいと考えております。

ところで現在、内外共に厳しい激動の諸情勢の中で、税理士業界には会計参与制度や税務支援の新たな構築、電子申告や書面添付制度そして研修制度の充実等々、課題が山積みしております。

特に「独占業務」を守るためにも、税務支援事業を積極的に推進するという本会の方針を受けて、又私自身ここ二年間一税対部員として新たな税務支援の取り組みに、お手伝いさせて頂いた貴重な経験を踏まえて、これらを支部運営に生かしてゆきたいと思っております。どうかよろしく願います。

大同生命営業社員・代理店表彰式

平成17年5月20日、京都国際ホテル「二条の間」において大同生命営業社員・代理店の表彰式が行われた。式は京税協保険部門担当の小坂文夫専務理事の司会で始まり、上田寛理事長が「大同生命の営業社員の皆様には常日頃私共の大切な顧問先企業の為に京税協の総合事業保障プランの推進に熱心に取り組んでいただき、まだまだ厳しい経済環境の中で素晴らしい成績を上げられたことに対して篤くお礼を申し上げます。また、代理店の先生方にも京税協の事業に御協力いただき誠に有難うございます」と挨拶した。

上田理事長の御礼を受けて大同生命の永田紀取締役近畿地区営業本部長は「私共社員のために表彰式を挙げていただき御礼を申し上げますと共に表彰を受けた代理店の先生方にお祝い申し上げます。私共の生命保険業界ではさまざまな規制緩和で競争が激化するなかで中小企業の専門保険会社としてより良い商品を提供できるよう頑張ります」と挨拶した。

続いて、林伸三郎副理事長の経過報告の後、上田理事長より受賞者へ表彰状並びに副賞が贈呈された。

受賞者は次のとおり（敬称略）

- 大同生命
- 最優秀賞 桐本博之（15回目）
- 優秀賞 大村和美（2回目） 吉田 梢（26回目）
- 山田祥子（8回目） 井上啓子（2回目）
- 谷岡雅世（10回目）
- 努力賞 木地谷良子 他18名
- 代理店 有田行雄 他71名

受賞者を代表して最優秀賞の桐本博之氏が挨拶をし、田島博昭副理事長の閉会の挨拶にて表彰式は終了した。

引き続き、ばんばひろふみさんをお迎えして、ヒット曲「いちご白書をもう一度」「SACHIKO」等を聞きながら楽しい懇親会をもち、来年の再会を誓いあった。（編集委員 間嶋利行）



お礼のことば

本日表彰を受けました社員一同を代表致しまして、一言、お礼のことばを申し上げます。

この度は、ご優越代理店の先生方ご臨席の下、私達の為に、この様な立派な表彰式を挙げて頂き、また只今は表彰状と副賞を、上田理事長より、励ましのお言葉と共に頂きました事、喜びと共に厚く御礼申し上げます。

誠にありがとうございます。

本日の受賞者6名、招待者21名と『京都税理士協同組合総合事業保障プラン』の販売推進に努力したものの、結果を来期に持ち越し悔しい思いをしていますが推進員を含めあらためまして全営業社員を代表し厚く御礼申し上げます。

ほんとうに有難う御座います。

私は昨年と今年連続して最優秀賞を頂く事が出来ました。これも偏に京都税理士協同組合と組合員の先生のお力添えのお陰と感謝の気持ちで一杯です。又それと同時に今後への責任感も強く感じております。

京都の企業も業績好転の兆しも少しずつ感じられますがまだまだ厳しい状況が続いていると感じております。

私事で大変恐縮ですが、いつも幸せを考える時には逆境の中より出でし、それを敢えて求めていた私の母の大好きな、こよなく愛した花の一つに岩ツツジが有りまして、生前の古い日記に次の様な走り書きがございます。

「何時も思い出すことはあの岩ツツジである。岩間にしっかりとしがみついて自己の生命を守り根を張り与えられた使命を課せられた運命にもめげず、昇天の苦しさにも極寒にも堪え平然としてやがて春を迎え美しい花をつけ咲き乱れた岩ツツジに私はここからの尊敬を惜しまない、岩の上の一つの生命が土も水も無い所で天与の雨と風の持参するものをしっかりと抱きしめ長い年月をかけて自己の天分を見事に発揮して、枝を整え花をつけた姿は何とまたとえ様の無い美しさである、いや、えらいと私は絶賛して何時も敬意と讃辞を送ってそこを通ったものである。

（中略）自己の天分を生かすために与えられた場所で限られた資源をしゃにむに把握して生きる空こそ私に指針を与えてくれたのである、子供の育て方に教育に対し自信と勇気を得たのである、私は一生この花を忘れる事は出来ない。（後略）

それに比べ私達は、京都税理士協同組合の先生方のご指導ご支援のもとで『京都税理士協同組合総合事業保障プラン』と言う素晴らしい商品の販売をする事が出来る全く恵まれた環境にあります。

私達が『京都税理士協同組合総合事業保障プラン』の販売推進する基本はコンプライアンス遵守のもとに、

- 1、多数件訪問
- 2、コンサルティングセールス
- 3、継続訪問

が重要と考え行動しています。

内輪ごとで大変恐縮でございますが、今、私達営業社員は石井支社長より、自分と比較するのは他の人とは無くて自分自身とである。昨日の自分より今日の自分が常に向上するように指導を受け、一日一日を大切に、一所懸命努力しています。

そして、支社長よりの教養を具現化する様に、本社研修部出身の松岡営業推進部長、新堀課長、小堀課長、又特に16年度清丸課長、17年度樋之津課長は支社全体の研修責任者として、他全機関長が、更には、税理士共済営業部の竹田部長も加わって下さり、コンサルティングセールスの基本から応用までわかりやすく解説指導していただき、ベテラン、中堅から新入社員迄全社員がそのノウハウを着々と身に付けております。

更に支社長、部長、全機関長、全スタッフが総動員で、同行訪問、資料の作成と総力での支援体制が出来ています。

『これで出来ないはずが無い！』もしもこれで成果が上げられないようでは、岩ツツジに馬鹿にされて、笑われてしまうと思います。

私はお陰さまで友人にも自慢出来る超優秀な経営陣の大同生命に入社し、『京都税理士協同組合総合事業保障プラン』の推進をさせて頂く中で、すばらしい税理士先生、上司、苦楽の情を分かち合える同僚、そして御理解ある多くの良きお客様に恵まれていると思っております。

今後とも、京都税理士協同組合と組合員の先生方のご指導ご支援のもと、岩ツツジより学んだパワーを持って販売推進活動をさせていただきたく思います。

先生、どうぞよろしくお願い申し上げます。

大変申し遅れまして恐縮で御座いますが、京都税理士協同組合 上田理事長はじめ、全相談役の先生、全副理事長、全専務理事、全常務理事、全理事、全役員、全組合員の先生方、事務局長はじめ全局員様、並びにご家族の皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

最後にこれからの仕事への熱意を、今、この場で宣誓をさせて頂き本日の『お礼のことば』にかえさせて頂きたく思います。よろしくお願い致します。宣誓

私達、大同生命保険京都支社営業社員一同は大同セールスマンシップに則り、人と企業を愛し敬い真実を尊び、又如何なる時にも、全てに感謝の気持ちを持って取り組み、京都税理士協同組合と組合員の先生方の御指導と御支援の下に、保有契約高三千億円を1日も早く突破し次なる大きな目標を勝ち取れるように、だいすきな、大好きな京都のまちを、人を、企業を『京都税理士協同組合総合事業保障プラン』色に、見事に染め上げるべく、本日の受賞を何よりの励みとさせて頂き、一所懸命頑張る事をここに誓います。

平成17年5月20日

大同生命保険株式会社 石井重基所管京都支社
営業社員代表
新堀智美機関第四営業課 桐本 博之

京都税理士協同組合厚生会会員のみならず 総合事業保障プラン総合型・L

大同生命の定期保険 AIUの普通傷害保険

90歳までの長期保障、保険料は一定。

日本人の平均寿命をこえる90歳までの長期保障。



入院、手術の治療にも安心。

病状やケガで入院および手術をされた場合でも安心して治療していただけます。さらに、長期間の入院、生活習慣病の場合の入院も保障が得られます。（大同生命）

最高6億円の大型保障。

重責にふさわしい大型保障で、事故死亡の場合最高6億円の大型保障です。（大同生命3億円・AIU3億円）



海外の事故・病氣も保障。

海外にも安心してご出張、ご旅行していただけます。

退職金、功労金などの財源として利用。

方が一死にされた場合に、保険金を死亡退職金や弔慰金としてご利用になれます。また、中途でおやめになる場合でも定期保険の解約払戻金が受取れます。（大同生命）

* 解約払戻金は、お払込保険料累計額を下回ります。
また、ご契約時および保険期間満了時には0になります。
* 加入資格については担当者にご確認ください。
◎ ご契約に際しては、所定のパンフレット・ご契約のおしりを必ずごらんください。

（引渡保険会社）



AIU 保険会社

京都支社税理士共済営業部/
京都市中京区烏丸通り三条下丸屋敷町595-3
TEL 075-256-7102

京都支店/京都市中京区烏丸通三条下丸屋敷町595（大同生命京都ビル7F）
TEL 075-223-1651

[F-17-1002(平成17年5月2日)]